

第三十六号の九様式（第六条、第六条の三、第十一条の四関係）（A 4）

定期検査報告概要書  
（防火設備）

（第一面）

---

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 カブシキガイシャ〇〇 ダイョウトリシマリヤク 〇〇 〇〇  
【ロ. 氏名】 株式会社〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇  
【ハ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇  
【ニ. 住所】 岡山県〇〇市〇〇町〇番〇号

---

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】 カブシキガイシャ〇〇サービス ダイョウトリシマリヤク 〇〇 〇〇  
【ロ. 氏名】 株式会社〇〇サービス 代表取締役 〇〇 〇〇  
【ハ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇  
【ニ. 住所】 岡山県〇〇市〇〇町〇番〇号

---

【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】 岡山県〇〇市〇〇町〇番〇号  
【ロ. 名称のフリガナ】 〇〇〇ホテル  
【ハ. 名称】 〇〇〇ホテル  
【ニ. 用途】 ホテル・飲食店

---

【4. 検査による指摘の概要】

要是正の指摘あり（ 既存不適格）  指摘なし

---

【5. 不具合の発生状況】

【イ. 不具合】  有  無  
【ロ. 不具合記録】  有  無  
【ハ. 不具合の概要】  
【ニ. 改善の状況】  実施済  改善予定（令和 年 月に改善予定）  
 予定なし（理由： )

---

防火設備の状況等

(第二面)

第二面は「要是正」「既存不適格」の指摘がある場合のみ記入し、添付する。  
指摘がない場合は、第二面を添付する必要はない。

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 7 階 地下 2 階  
【ロ. 建築面積】 ○○ m<sup>2</sup>  
【ハ. 延べ面積】 ○○ m<sup>2</sup>

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 令和 ○○年 ○月 ○日 第○○○○号  
【ロ. 確認済証交付者】 ■建築主事 □指定確認検査機関 ( )  
【ハ. 検査済証交付年月日】 令和 ○○年 ○月 ○日 第○○○○号  
【ニ. 検査済証交付者】 ■建築主事 □指定確認検査機関 ( )

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和○○年 ○月 ○日実施  
【ロ. 前回の検査】 ■実施 (令和○○年 ○月 ○日報告) □未実施  
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ■有 □無

【4. 防火設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 ( 一級 ) 建築士 (国土交通大臣) 登録第 ○○○○○ 号  
防火設備検査員 第 ○○○○○ 号  
【ロ. 氏名のフリガナ】 ○○ ○○  
【ハ. 氏名】 ○○ ○○  
【ニ. 勤務先】 株式会社○○一級建築士事務所 (岡山県知事) 知事登録第○○○○○ 号  
( 一級 ) 建築士事務所  
【ホ. 郵便番号】 ○○○-○○○○  
【ヘ. 所在地】 岡山県○○市○○町○番○号  
【ト. 電話番号】 ○○○-○○○-○○○○  
(その他の検査者)  
【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 △△△△△ 号  
防火設備検査員 第 △△△△△ 号  
【ロ. 氏名のフリガナ】 △△ △△  
【ハ. 氏名】 △△ △△  
【ニ. 勤務先】 △△検査会社 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
【ホ. 郵便番号】 △△△-△△△△  
【ヘ. 所在地】 岡山県△△市△△町△番△号  
【ト. 電話番号】 △△△-△△△-△△△△

【5. 防火設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】

□区画避難安全検証法 ( 階)  
□階避難安全検証法 ( 階)  
□全館避難安全検証法  
□その他 ( )

【ロ. 防火設備】 ■防火扉 ( 7 枚) ■防火シャッター ( 36 枚)  
■耐火クロススクリーン ( 16 枚) □ドレンチャー ( 枚)  
□その他 ( 台)

【6. 備考】

(注意)

この様式には、第三十六号の八様式に記入した内容と同一の内容を記入してください。第二面は、同様式第二面において指摘があつた防火設備についてのみ作成し、第一面に添えてください。